

【ヒアリングで各事業者からお聞きしたい事項】（各参加者8分程度を想定）

①2030年に向けた考え

- ・将来の充電インフラ整備に向けた、基本的な考え。
- ・検討されていれば、設置数目安や出力など、整備における目安となる数値。

②充電インフラ整備に向けた現状の取組と課題

- ・普通充電器、急速充電器それぞれの、設置場所ごとの現状について。
- ・充電インフラ整備に向けた課題と今後の取組の方針について

①2030年に向けた考え

- ・EV普及に向けては集合住宅における充電インフラが不可欠で、マンションへの設置に注力
- ・更に、目的地におけるインフラもEV普及を促進するものとして、ホテル・ゴルフ場・自治体施設等への設置にも積極的に取り組む
- ・2025年迄に1.5万基の設置を計画。急速充電にも参入

②充電インフラ整備に向けた現状の取組と課題

・普通充電器

集合住宅では初期費用充電事業者負担とする事で普及が促進されているが、特に都心では機械式駐車場への導入拡大に課題あり。但し、機械式対応充電器の普及により問題解消も期待される

政府補助金を活用し、出来るだけ幅広いマンションに設置される事が望ましいため、1施設に多数設置の補助金申請を行う事で、結果充電器が導入されるマンション数が減る事はインフラ普及の阻害要因

・急速充電器

設置施設側においては、電気基本料金負担増が課題の1つ

・今後の取組の方針

引き続き集合住宅等の基礎充電に注力しつつ、宿泊商業施設への設置、急速充電にも取り組んで行く